

## 平成26年度第5回 印西市市民活動推進委員会 会議要旨

1. 開催日時 平成26年10月8日(水) 午後2時～4時
2. 開催場所 文化ホール2階 多目的室
3. 出席者 牧野昌子委員長、植本崇委員、林正信委員、植村泰則委員、  
近藤りえ子委員、大野定俊委員、玉井和幸委員、桑原玉樹委員、  
山野井美和子委員 以上9名
4. 欠席者 石野秀樹委員、宗前尚子委員
5. 発表者 提案者7名
6. 事務局 松田課長、伊藤、杉山
7. 傍聴者 4名(定員20名)、関連部署職員4名
8. 会議内容 企画提案型協働事業 公開審査会/第3次審査  
(全て公開) (1) 開会  
(2) 委員長あいさつ  
(3) 印西市市民活動推進委員の紹介  
(4) プレゼンテーションの進め方と審査方法等の説明  
(5) プレゼンテーション  
提案2 道作古墳群歴史広場の維持管理事業  
(特定非営利活動法人小林住みよいまちづくり会)  
提案3 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業  
(特定非営利活動法人エコネットちば)  
提案4 印西市木下地区歴史講座  
(木下まち育て塾)  
(6) 審査結果発表・講評  
(7) 閉会

### 9. 議事録

(5) プレゼンテーション

提案2 道作古墳群歴史広場の維持管理事業(特定非営利活動法人小林住みよいまちづくり会)

#### 提案者からの発表

- ・パワーポイントを使って、第2次審査時の付帯意見を踏まえ、協働の機会提案書の修正点等について説明があった。具体的には、経費内訳書の無償労働力等換算金額に、かわら版作成費・印刷代、ホームページ記事作成費、インターネット代、アンケート調査費283,660円を加算したと説明があった。
- ・古墳の重要性のPRにも積極的に取り組む旨について説明があった。

## 質疑応答

- ・（質問）これから道作古墳群に対する市民の関心が集まると思う。古墳の調査は完了しているのか。また、出土品の展示説明などの計画について教えてほしい。
- （生涯学習課回答）測量調査は終了した。今後は計画的に被葬者や出土資料について学術調査を進めていきたい。出土品の展示説明については、ウォーキングイベント等の機会に市の職員で実施したいと考えている。現在、市には適当な展示施設がないが、施設を整備した際には道作古墳群関連の資料も展示したいと考えている。
- ・（質問）市民へのPRについてだが、市の広報紙では具体的な内容の紹介まで入れ込むのは難しい。ウォーキングイベントの際の展示説明も限定的に感じられる。もっと内容まで踏み込んだPRが必要ではないか。
- （生涯学習課回答）確かに市の広報紙だけではページ数などに限りがある。担当課では、市ホームページでの紹介やより学問的な内容を記載したパンフレットの発行を考えている。
- ・（質問）長く活動が続けるには人材の確保が大事。若手の育成をどう考えているか。
- （提案者回答）経験を重ねるごとに、団体メンバーの年齢も高くなっていることは事実。ウォーキングイベント等の参加者や、草刈り作業の一般参加者に活動をPRし、団体に取り込んでいくことも考えている。

## **提案3 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業（特定非営利活動法人エコネットちば）**

### 提案者からの発表

- ・パワーポイントを使って、台風18号時の調整池や花畑の状況等について画像で示し、継続的に事業に取り組む意義と成果、現状の課題について説明があった。

### 質疑応答

- ・（質問）調整池法面から土砂が調整池に流出しているということだが、どのような防護策を講じているか。
- （都市整備課回答）砂を入れるなど、法面の補修は随時行っている。草刈りの頻度を調整して、法面を強化する工夫も必要と考えている。
- （提案者回答）勾配は緩いが、雨で少しずつ土砂が流れているので、将来的には大規模な補修が必要だと思われる。
- ・（質問）三者協議の記録に、他市で提案型の協働事業を随意契約に切り替えている例もあるので、市でも調査研究してみたいと書かれている。これはどういう意味か。
- （事務局説明）この記述は企画提案型協働事業の担当課である市民活動推進課とし

での考えである。以前から課題として挙がっていることを踏まえ、制度の担当課として他市の事例を調査研究してみたいと三者協議で説明したもの。

- ・（質問）活動を続けるには担い手、人材の育成が必須であり、活動のPRが大切だが、このことについてはどのように考えているか。
- （提案者回答）すごく若い人ではないが、自分たちより少し若い人が加わってきている。先日のお祭りでは市民活動支援センターを通して学生ボランティアなども参加してくれた。当団体はホームページをもっていないが、参加者がブログで情報を発信してくれたので、PRにつながった。来年度は当団体ホームページの開設を考えている。

#### 提案4 印西市木下地区歴史講座（木下まち育て塾）

##### 提案者からの発表

- ・パワーポイントを使って、第2次審査時の付帯意見を踏まえ、協働の機会提案書の修正点について説明があった。具体的には、小中学生対象のツアーや木下街道巡りといった特別講座や、講座修了者に対するフォローアップ活動を新たに盛り込むこととなったと説明があった。
- ・経費内訳書のポスター印刷単価を見直し、事業費を21,600円縮減したと説明があった。

##### 質疑応答

- ・（質問）冬季特別講座で計画している市内外の施設見学等についてだが、鎌ヶ谷などにも歴史的な建造物が残っているのか。
- （提案者回答）木下街道沿いの市にはそれぞれ資料館・博物館があるので、そこを訪問したいと考えている。見学できそうな史跡等も若干残っている。
- ・（質問）市民に広く吉岡の蔵や、協働事業の中身をPRすることが重要だと思う。市との協働事業の何を中核部分と考えているのか教えてほしい。
- （提案者回答）市の広報紙への掲載や公民館・図書館などへのポスター等掲示で市の協力を得ている。
- （生涯学習課回答）協働事業そのものに対するPRは行っていない。市としては活動団体への支援の一環として協働事業を位置付けている。活動のPRについても今後検討していきたい。
- ・（質問）10周年の記念事業は協働事業として実施するのか。
- （提案者回答）自主事業である。
- ・（質問）自主事業と協働事業はきちんと分けていく必要がある。今後は、協働事業の具体的成果となる受講者のステップアップ企画を、自主事業の中で検討

してほしい。

→（提案者回答）現在検討中だが、利根川東遷の調査研究など、テーマを設けて受講生のフォローアップを行っていきたいと考えている。

- ・（質問）チラシなどでよくPRに努めていると感じる。これからは市全体を見渡して、例えばイオンモールや小倉台図書館などを会場にするなど、NT地区の取り込みを図っていただきたい。

→（提案者回答）そういう声が多いことは認識している。今後検討していききたい。

#### （6） 審査結果発表・講評

牧野委員長の進行のもと、各委員の評価を集計した審査結果を次のとおり発表した。

##### 【審査結果】

提案2 道作古墳群歴史広場の維持管理事業（特定非営利活動法人小林住みよいまちづくり会） ○9 △0 →適

提案3 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業（特定非営利活動法人エコネットちば） ○9 △0 →適

提案4 印西市木下地区歴史講座（木下まち育て塾） ○9 △0 →適

付帯意見について、ふせんに記載した各委員の意見を模造紙に貼りだして下記のとおり整理し、牧野委員長と桑原委員が説明、最後に牧野委員長が講評を行った。

提案2 道作古墳群歴史広場の維持管理事業（特定非営利活動法人小林住みよいまちづくり会）

##### 【付帯意見の項目別掲載】

##### 広く多くの市民に伝えてほしい

- ・多くの市民をまきこんで皆に愛される歴史広場にして下さい。PR活動をお願いします。
- ・古墳群の歴史的財産を多くの市民と共有する役割がある活動として、期待します。
- ・小林の古墳群と古墳広場のこの維持管理事業は、印西市の歴史、文化を市民が感じる、新たな拠点になる可能性が高いと思う。
- ・市民へのPRについては、文化的価値などの内容の広報を団体と市と連携して更に充実したものとなるよう努めて頂きたい。

##### 他団体との協力を

- ・小林駅舎も新しくなります。いろいろな活動と協働して、更にPRしてはどうでしょうか（ニュータウン地区を）。

##### 市との協働をより強く

- ・文化財保護、市民への広報として重要な project だと思います。市との協力をより強く

固めていって欲しいと思います。但し、人件費の考え方を明確にして下さい。

- ・ ロマンのある事業であり発展を期待します。又、今後の調査結果を時期ごとに公開願います。

#### 調査、保存に期待

- ・ 今後とも文化財の保存、利活用に力を発揮されることを期待します。

#### 人材育成で継続性を

- ・ 後継者育成、若手育成はどの団体でも同じ悩みを持っていると思いますが、継続性の高い事業ですので、是非力を入れて頂きたいと思います。

### **提案3 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業（特定非営利活動法人エコネットちば）**

#### **【付帯意見の項目別掲載】**

#### 期待・感謝

- ・ ご苦労様です。維持管理が大変だと思います。継続が必要ですのでよろしくお願いします。
- ・ 調整池の維持管理と連携して、引続き良好な管理を行われることを期待します。
- ・ 協働事業として市との良い連携ができています。頑張ってください。

#### 契約方法（随契）

- ・ 契約方法についての考えを明確に示してもらえれば尚良いのではないかと思います（行政）。
- ・ 将来に向けての継続性については、担当課に他市での対応を是非調査して頂き、今後印西市で受け入れ可能な方法を提案して頂きたい。（企画提案型の協働事業は永続的なものではなく一定の年月で終息することが望ましいので）
- ・ 協働事業のあり方が、毎回課題になる様ですので、来年度は、市としてもこの課題の検討に踏み込んだ方が良く思われる。

#### 提案

（HP）

- ・ 団体としてのホームページ開設に期待します。メンバー、サポーターを増やすことは、イベント等の充実につながり、市民にとってもよいこととなります。

（若手育成）

- ・ 事業として継続していくための若手の育成等にも力を入れて頂きたいと思います。

（インフォメーションを）

- ・ お祭り中止は残念でした。来年楽しみにしています。いつもありがとうございます。仕事を増やすようで申し訳ありませんが、時々でいいので何かのかたちでこの池付近、公園内の見どころ等をインフォメーションしていただけたら市民の足がもっと向くのではないかと思います。

（担当課との話し合いを）

- ・担当課と検討、話し合いを重ねながら事業を継続して下さい。

(管理方法)

- ・竹袋調整池は木下駅にも近く、水辺の景観の維持管理、花畑の整備等は、地域のふれあいの機会を広げていると思う。しかし、もっといい維持管理の方法がないのかどうかと毎年（いつも）思う・・・。

#### 提案4 印西市木下地区歴史講座（木下まち育て塾）

【付帯意見の項目別掲載】

対象者を広く！

- ・若い世代を受け入れる取り組み等を新たに企画して頂き、高く評価したい。今後、市との協働事業として最終的に何を目標として、何時まで続けるのか明確にして欲しい。
- ・歴史・文化の継承活動に大いに期待します。特に、小・中学生を対象とする講座に期待します。
- ・特別講座等で舟の川巡り、印西の道作古墳群、文化的建物を廻るバスツアーを企画し、受講生に実感として木下・六軒地区の歴史を感じてもらい、一気に多くの若い人を呼び込み、今後、塾生の若返りを図ってほしいと思う。
- ・若い人対象の内容は今後の広がりにつながると思います。フォローアップに工夫をお願いします。

市の広報力に期待

- ・市民への広報に関しては、活動紹介に留まらず、文化的内容を含め、市にも積極的な対応をお願いしたい。

市内外へのPRを！

- ・PRにぜひ、力をいれていただきたい。次の発展につながる工夫は大変だと思いますが、ぜひがんばって下さい。
- ・木下地区のPRは大きく進展していると思います。ニュータウン地区の引き込みをお願いしたい。
- ・「温故知新」大事な取り組みだと思います。他の団体、例えば「ふるさと案内人協会」や、「印西ウェットランド」とのコラボレーションが実現できればより幅広い活動が望めるのでは？

語り部を増やす活動を！

- ・この事業の展開には、木下地区の歴史を語る語り部を増やす役割があります。研究で深掘りすることとあわせて、語り部活動にも力を入れていただきたい。

(7) 閉会

今後の協働事業のスケジュールについて事務連絡を行った。本日の結果に基づき、採

択候補事業の選定結果を委員会から市長に答申し、市長が採択事業を決定、関連部署で来年度に向けての予算化、また事業の実施に向けて具体的な準備に入る旨の連絡をした。